

県内の患者数

	今週	前週		今週	前週
インフルエンザ	0	0	百日咳	0	0
RSウイルス感染症	0	0	ヘルパンギーナ	238	258
咽頭結膜熱	18	10	流行性耳下腺炎 (おたふくかぜ)	97	80
A群溶血性連鎖球菌 咽頭炎	40	35	急性出血性結膜炎	0	0
感染性胃腸炎	148	168	流行性角結膜炎 (はやり目)	13	16
水痘	43	50	細菌性髄膜炎	0	0
手足口病	618	902	無菌性髄膜炎	0	0
伝染性紅斑 (りんご病)	12	12	マイコプラズマ肺炎	2	2
突発性発しん	54	36	クラミジア肺炎	0	0

報告が多い感染症

- 手足口病
- ヘルパンギーナ
- 感染性胃腸炎

- 手足口病は、報告数 618 件(前週報告数 902 件)と減少。
地区別では、山鹿、菊池、宇城に多く報告がみられる。
年齢別では、1歳の 153 件を最多に、幅広い年齢層から報告されている。
- ヘルパンギーナは、報告数 238 件(前週報告数 258 件)と減少。
地区別では、天草、菊池、有明に報告が多くみられる。
年齢別では、1歳の 76 件を最多に、幅広い年齢層から報告されている。
- 感染性胃腸炎は、報告数 148 件(前週報告数 168 件)と減少。
地区別では、山鹿、人吉、有明に多く報告がみられる。
年齢別では、1歳の 30 件を最多に幅広い年齢層から報告されている。

◆◆◆保健所別発生状況(インフルエンザ・小児科・眼科・基幹定点)◆◆◆

保健所名	インフルエンザ	RSウイルス 感染症	咽頭 結膜熱	A群溶血 性レンサ球 菌咽頭炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性 紅斑	突発性 発しん	百日咳	ヘルパ ンギー ナ	流行性 耳下腺炎	急性出 血性結 膜炎	流行性 角結膜炎	細菌性 髄膜炎	無菌性 髄膜炎	マイコプラ ズマ肺炎	クラミ ジア肺炎
熊本市保健所			9	20	43	21	242	8	24		72	37		11				2
山鹿保健所					16		37	1			7	4						
菊池保健所			5	5	14		73		7		39	9						
阿蘇保健所			1	2	2		1											
御船保健所						1	8											
八代保健所				4	6	3	32	1	6		14	4						
水俣保健所			1		5	1	32		4		2	2						
人吉保健所				1	17	7	28		2		12	2						
有明保健所			1		24	6	49	2	2		36	15		2				
宇城保健所					12	2	54		6		15	18						
天草保健所			1	8	9	2	62		3		41	6						
計	0	0	18	40	148	43	618	12	54	0	238	97	0	13	0	0	2	0

◆◆◆年齢別発生状況(インフルエンザ・小児科・眼科・基幹定点)◆◆◆

インフルエンザ定点	合計	0~5ヶ月	6~11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10~14	15~19	20~29	30~39	40~49	50~59	60~69	70~79	80歳以上	
インフルエンザ	0																					
小児科定点年齢	合計	~6ヶ月	~12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10~14	15~19	20歳以上							
RSウイルス感染症	0																					
咽頭結膜熱	18	1	3	4	3	3			2	1											1	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	40		1	1	3		8	5	5	4	4	1	3	3	2							
感染性胃腸炎	148	7	15	30	11	13	17	9	3	6	3	7	14	1	12							
水痘	43		3	13	12	7	3	1		1	1		2									
手足口病	618	8	74	153	133	110	46	31	15	15	6	4	17		6							
伝染性紅斑	12		2	2		5	1	2														
突発性発しん	54	3	27	22	1	1																
百日咳	0																					
ヘルパンギーナ	238	4	35	76	51	20	17	18	2	5	3	2	4		1							
流行性耳下腺炎	97			13	23	13	10	17	6	3	3	1	5		3							
眼科定点年齢区分	合計	~6ヶ月	~12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10~14	15~19	20~29	30~39	40~49	50~59	60~69	70歳以上		
急性出血性結膜炎	0																					
流行性角結膜炎	13				1									1		2		5	4			
基幹定点年齢区分	合計	0歳	1~4	5~9	10~14	15~19	20~24	25~29	30~34	35~39	40~44	45~49	50~54	55~59	60~64	65~69	70歳以上					
細菌性髄膜炎	0																					
無菌性髄膜炎	0																					
マイコプラズマ肺炎	2		1	1																		
クラミジア肺炎	0																					

大きな流行が発生
又は継続しつつある地域

- 手足口病：熊本・山鹿・菊池・八代・水俣
人吉・有明・宇城・天草
- ヘルパンギーナ：熊本・菊池・八代・人吉
有明・宇城・天草
- 流行性耳下腺炎：山鹿・宇城

ヘルパンギーナ
手足口病



手足口病、ヘルパンギーナの今週の報告数は更に減少しましたが、現在も警報レベルが続いています。両疾患とも、九州各県同様の傾向にあり、多くの県で報告数は減少に転じているものの、依然として警報レベルにありますので、注意が必要です。手足口病、ヘルパンギーナともに、幼児を中心に流行する急性ウイルス性感染症です。手足口病は、口の中や手、足などに水疱性の発疹が見られる疾患で、ヘルパンギーナは、発熱とのどにあらわれる水疱性発疹が特徴です。患者の便や咳、くしゃみから感染しますので、予防法としては、排便処理後、食事前、調理前の手洗いやうがいなどが有効です。また、医療機関からは、両疾患に同時に罹った例や、2回以上手足口病に罹った例が複数報告されています。一度罹った方もしっかり予防対策をとってください。



KKT 医療ナビ! Dr. テレビたん

<http://www.dr-tvtan.jp/>

情報提供：熊本県健康福祉部 健康危機管理課